



新館萬歲志奇

東山淑女將

浣屋松喧咳

催馬樂踊始

大平沈菊乃之卷

小栗判官車衛道

並口御代先陣館

勢相撲番組

蘆屋道滿

歌討嚴流嶋

山崎





此圖繪出... 萬壽... 新館...
 大... 彌... 世... 萬... 萬...





うらやま
てんま
うらやま
うらやま

浅尾の十席

大でん

浅尾の十席

鼠長

はやくとへうへらまに
おきんてん
あうてあてん



うらやま
あ松

中村

八百

浅尾の十席

中山

大あつり

鼠長

あつり
あつり
あつり









大
つと
おんが
あや

御河次表

御又郎

うらま
あつと
あつと

あつと
あつと
あつと

御十郎
御十郎

御十郎



あつと
あつと

御十郎
御十郎

大
あつと

御十郎
御十郎

御十郎
御十郎

御十郎

御十郎
御十郎

御十郎
御十郎







大あほう

中山茶助

九帝

三帝

十帝



ひる

大あほう

三帝

十帝

女将

今者の

大あほう

三帝

十帝

他人

大あほう

三帝

十帝

他人

大あほう

三帝

十帝

他人

大あほう

三帝

十帝

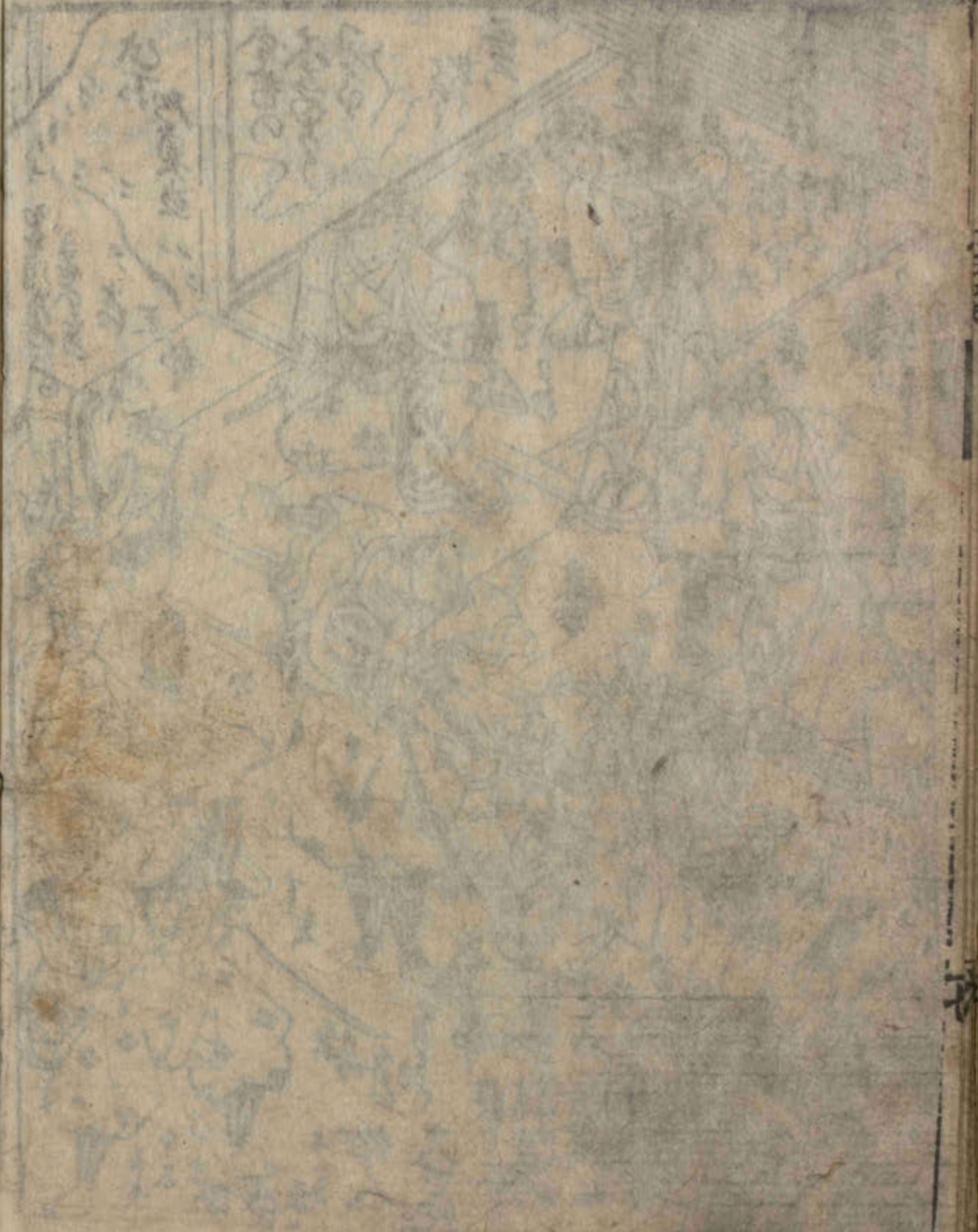
他人

大あほう

三帝

十帝

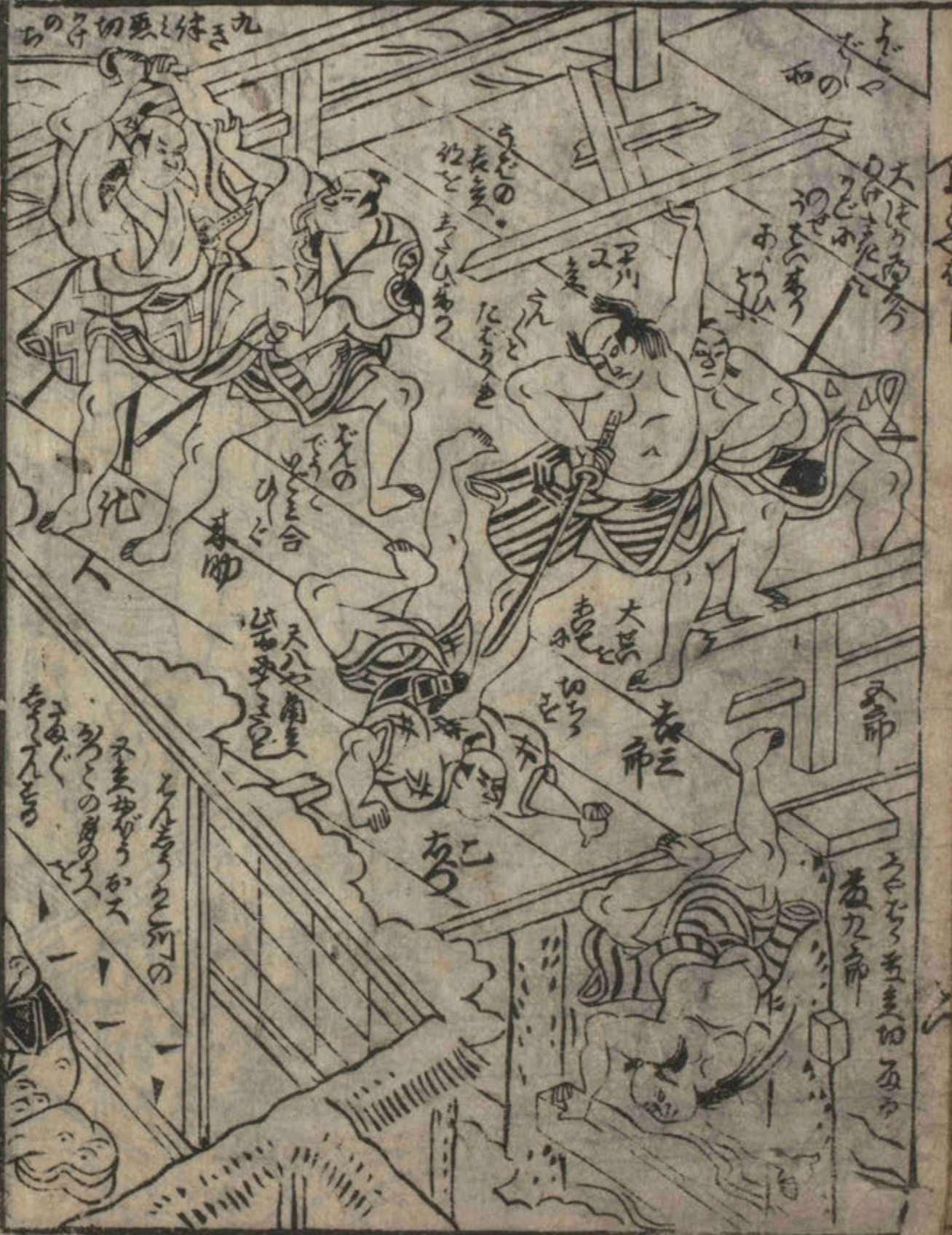
他人















催馬
樂踊始

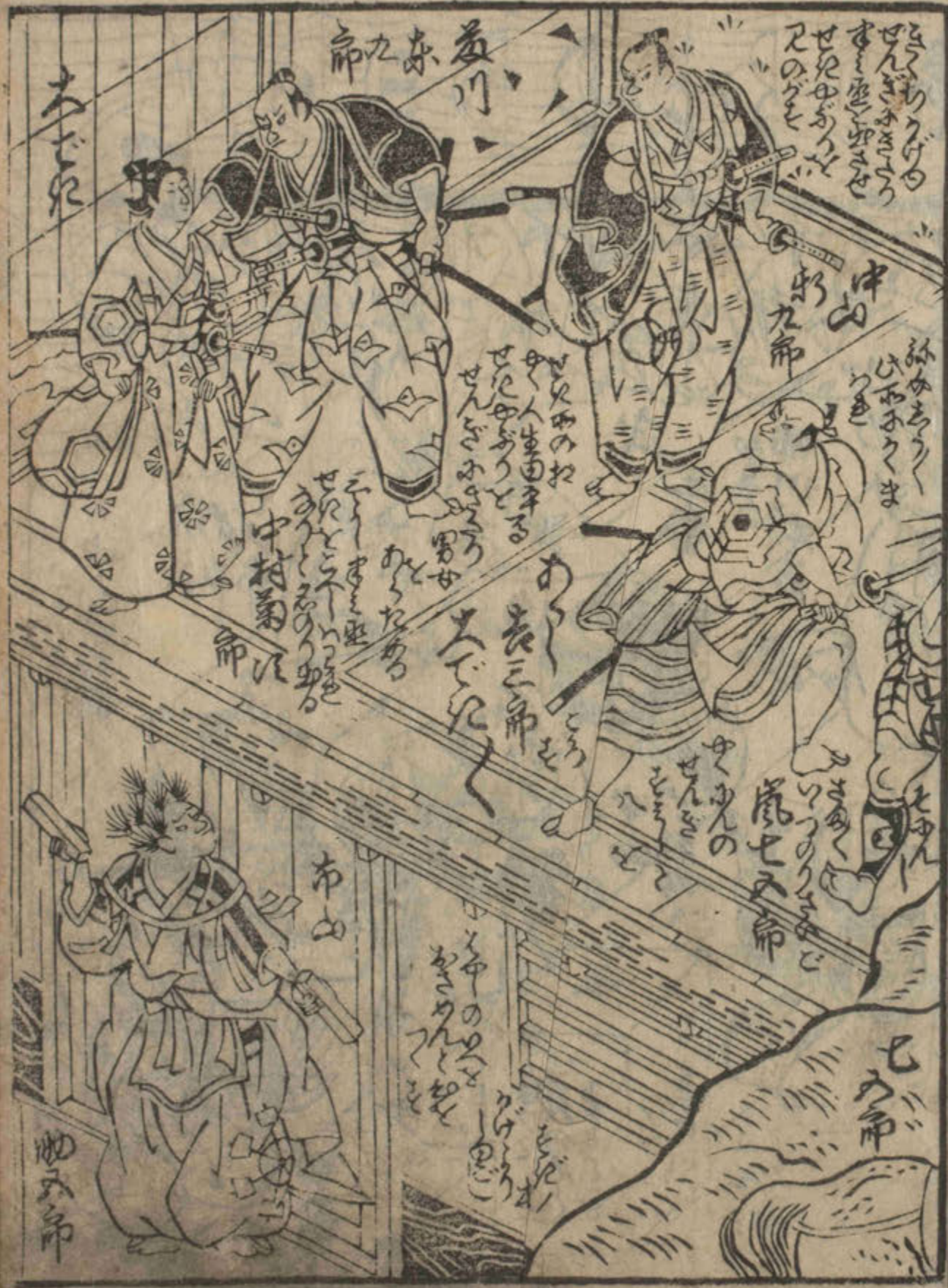
座本 若松三平
紋追店
一
乃
系
公
欲
討



全後

番三













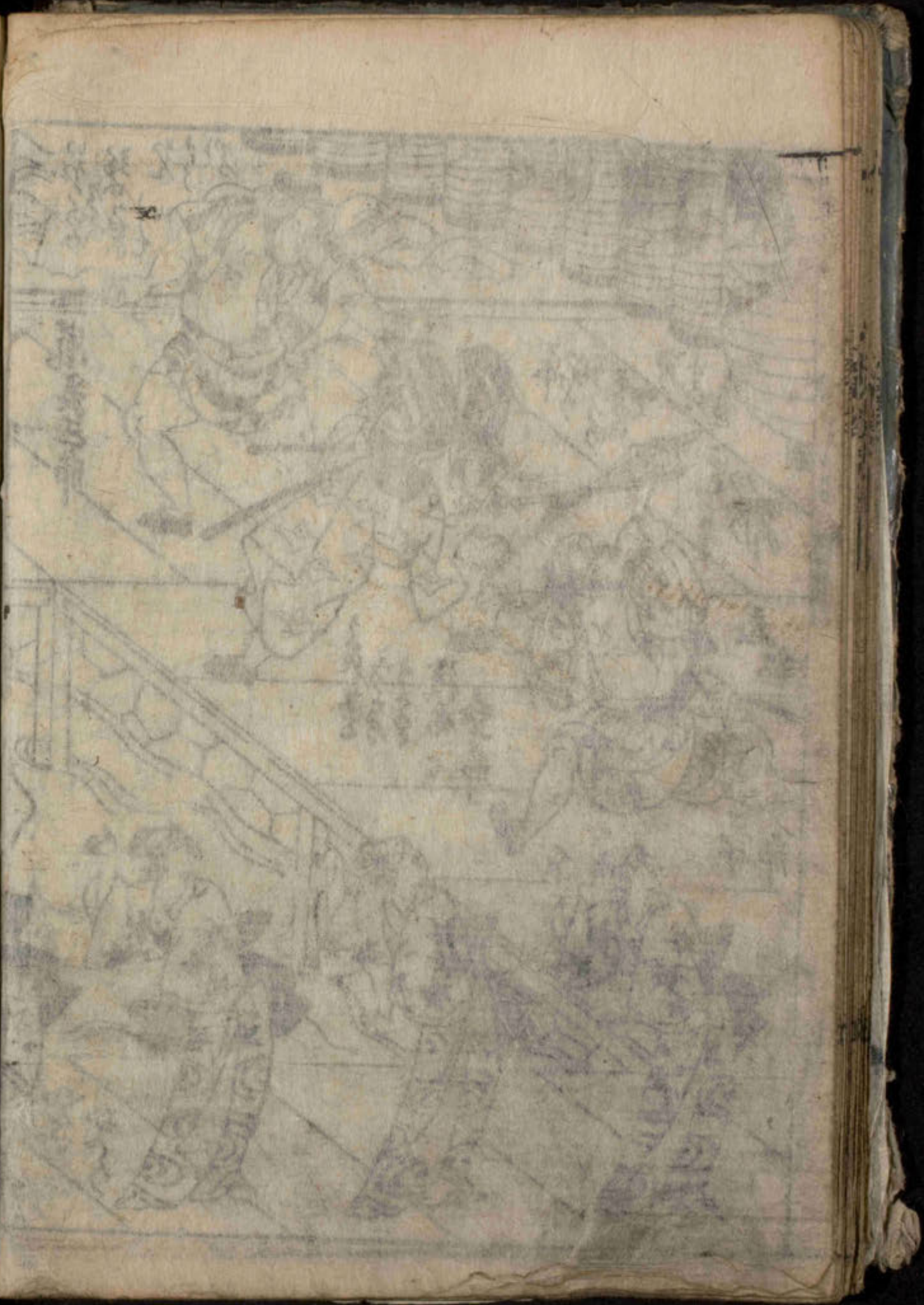
太平記

名
塵末師川万造

菊水之卷

九巻
後

全

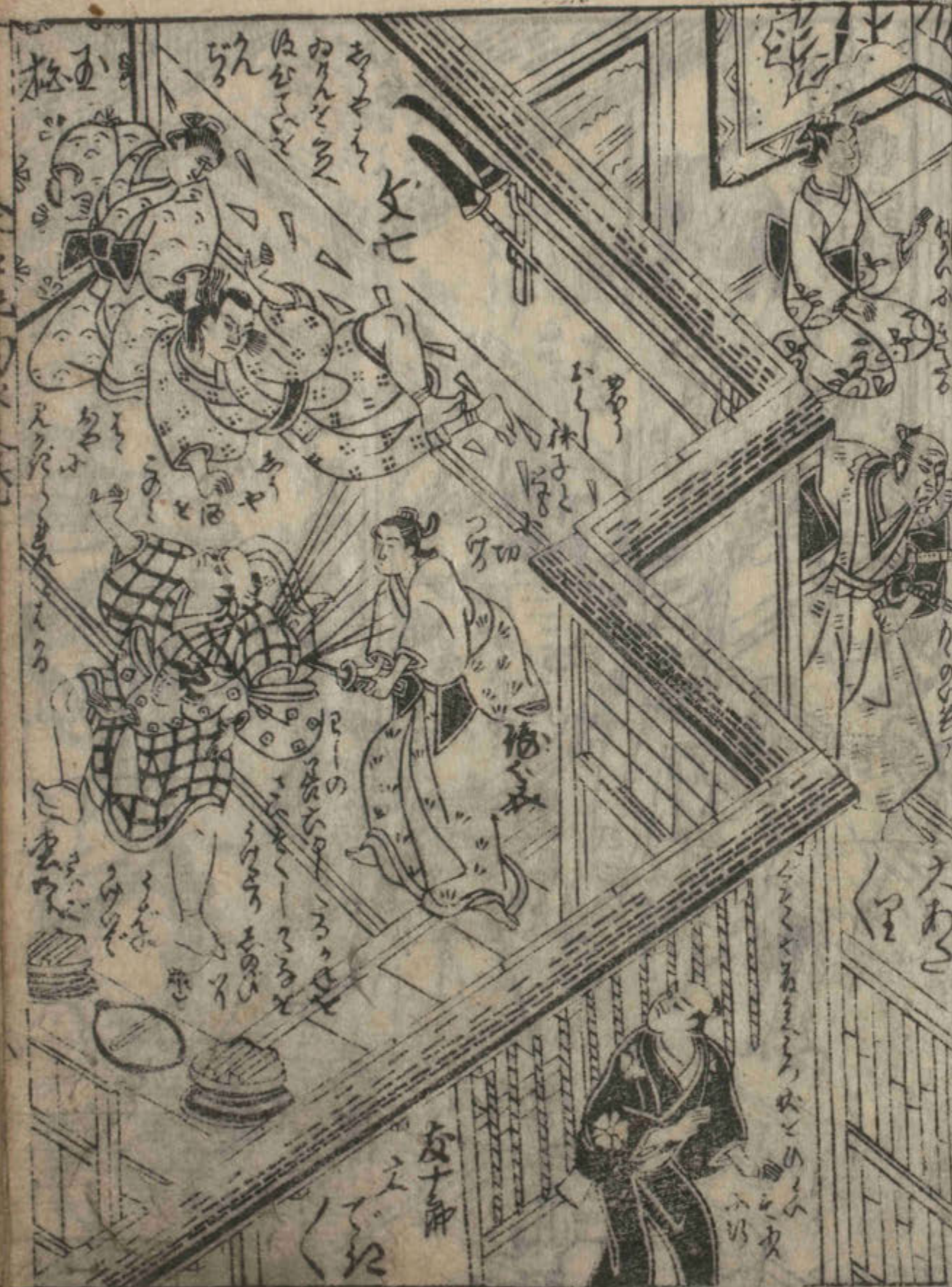


南朝正平四年
北朝貞和五年
太平記菊水之巻
第五段

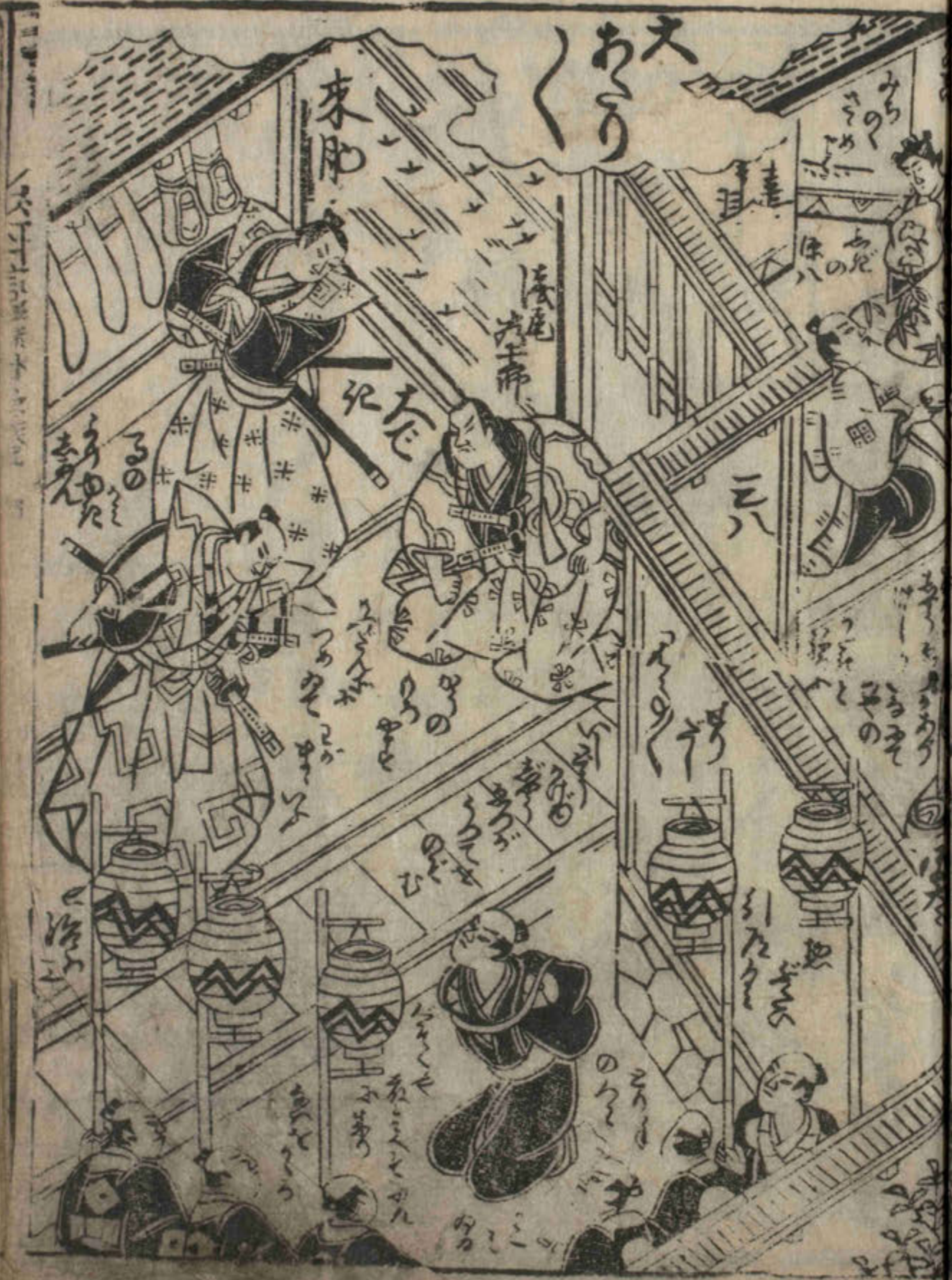












前か狂言 小栗判官車街道 三原園遊

切の狂言 神

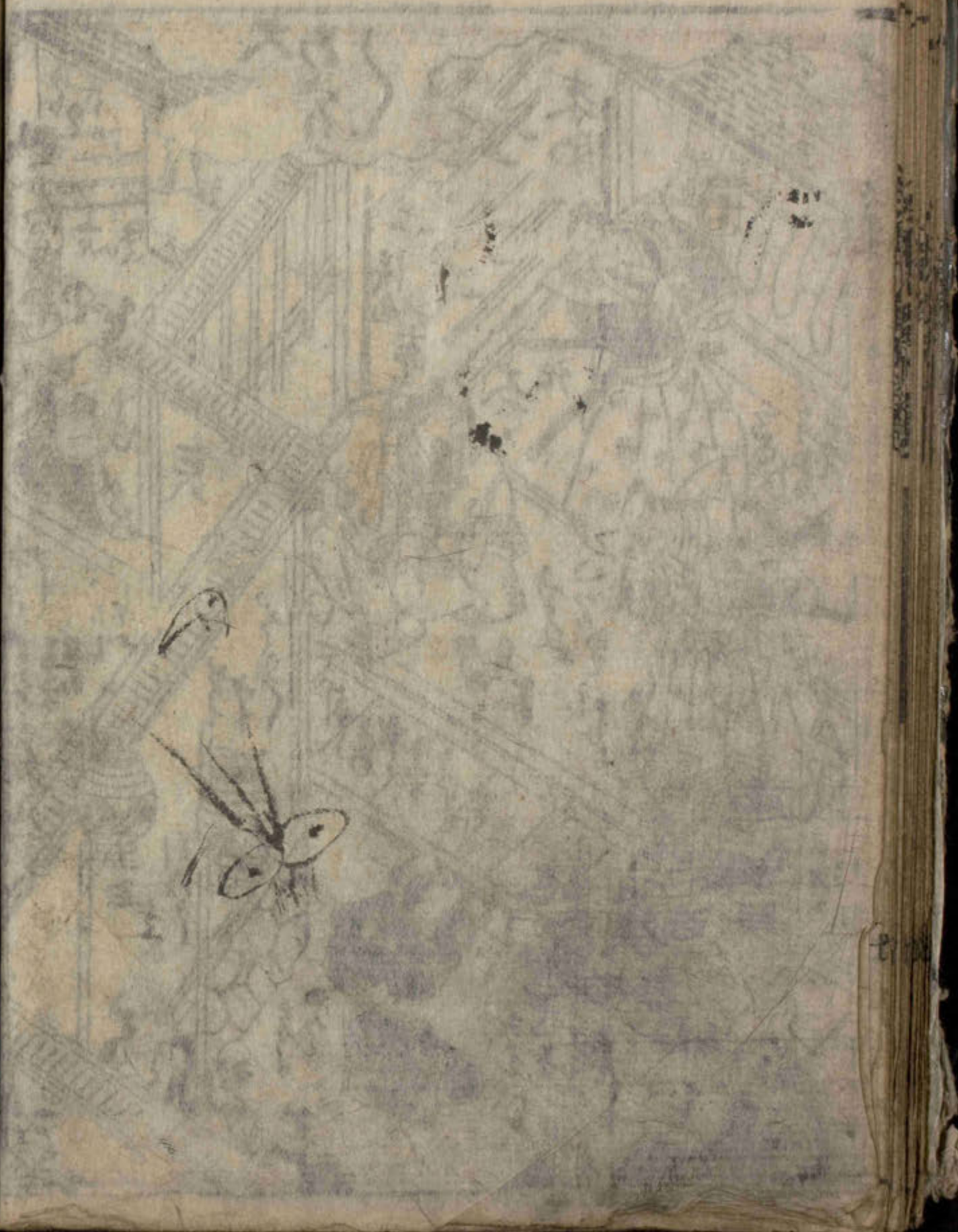
みぎて

二冊物

二冊物 松の被ひ世の



座本 中山与三郎



前巻 小栗判官東海道

二巻目迄



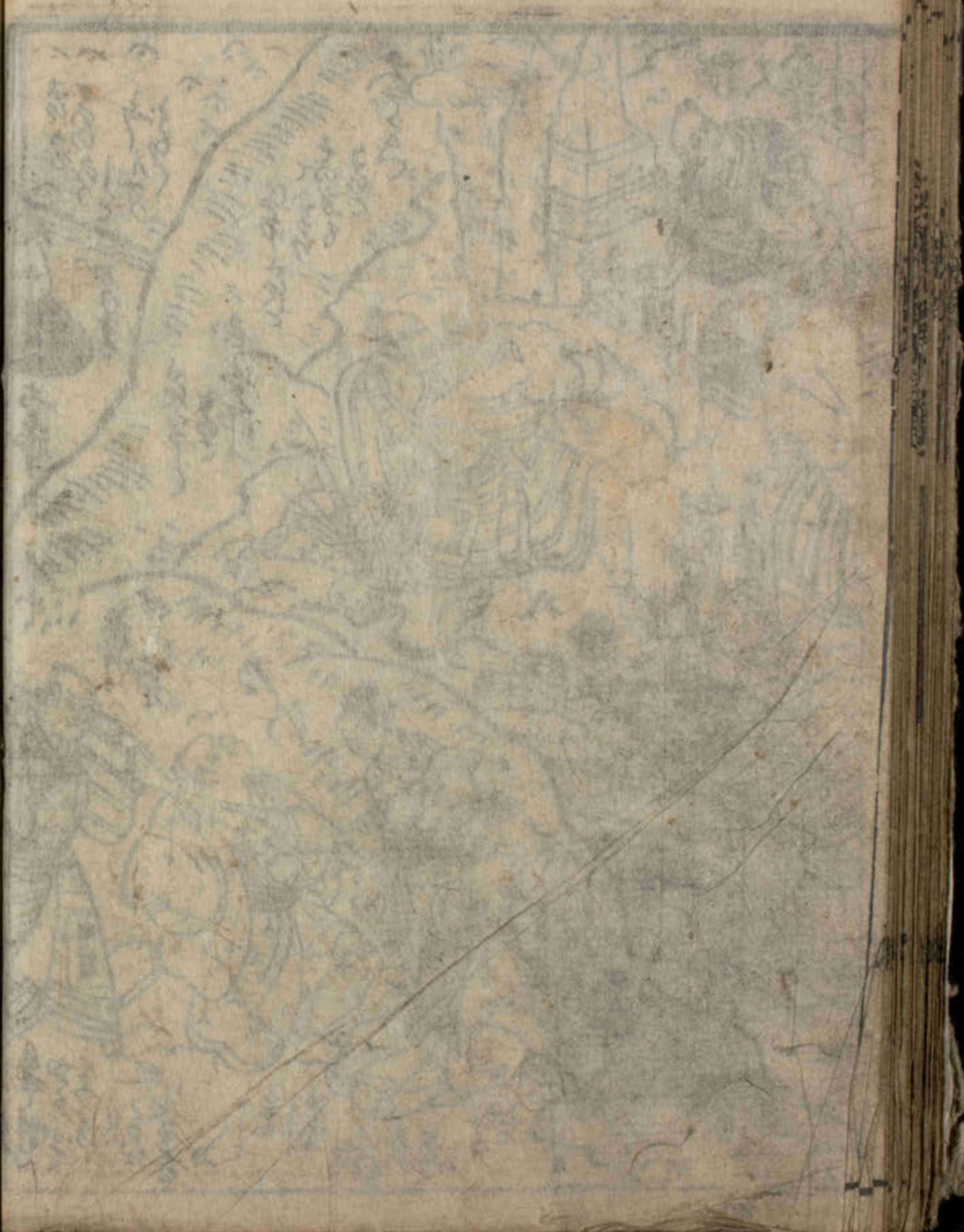


切狂言 神うびていせの形 紅二用物





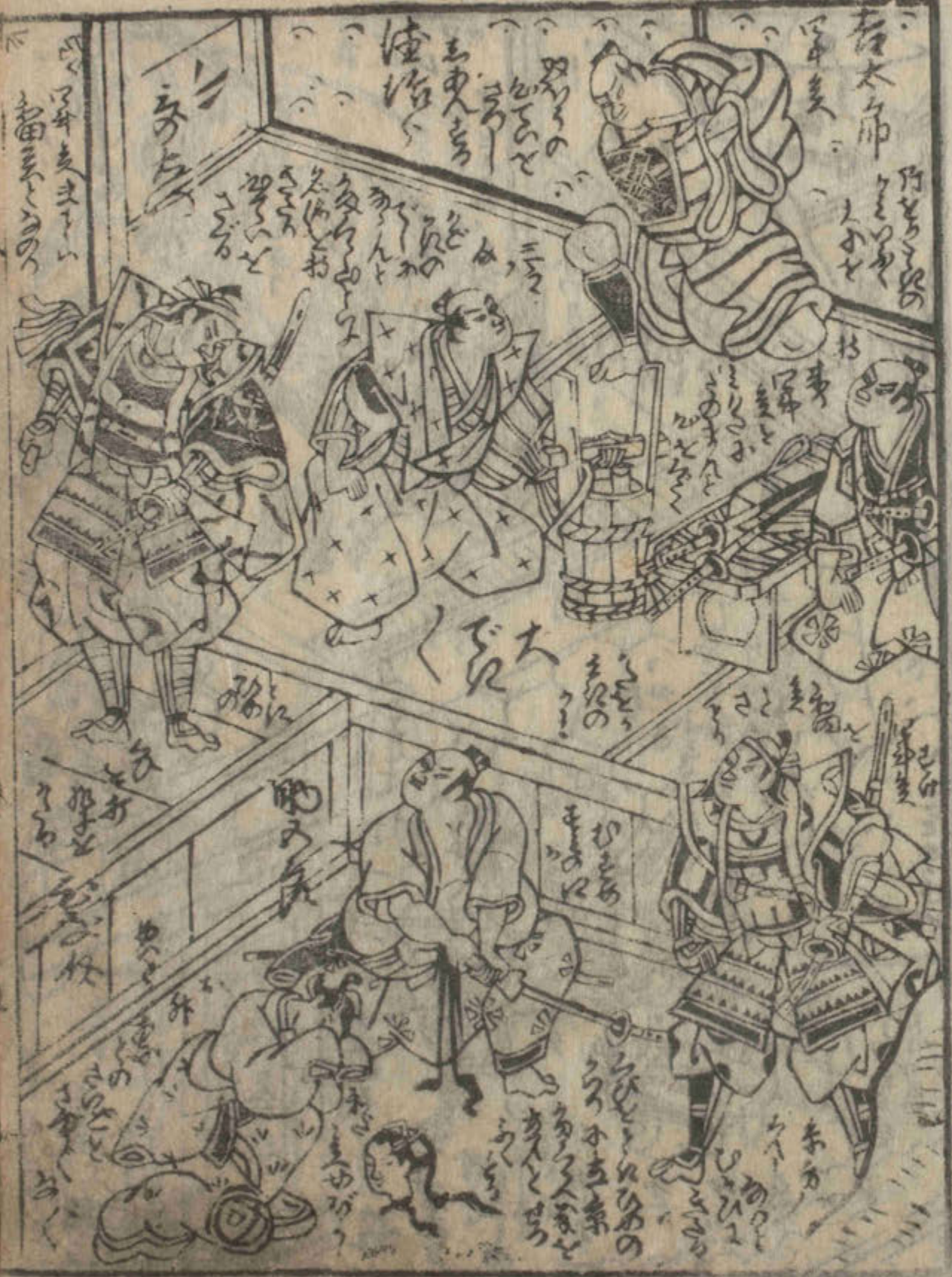


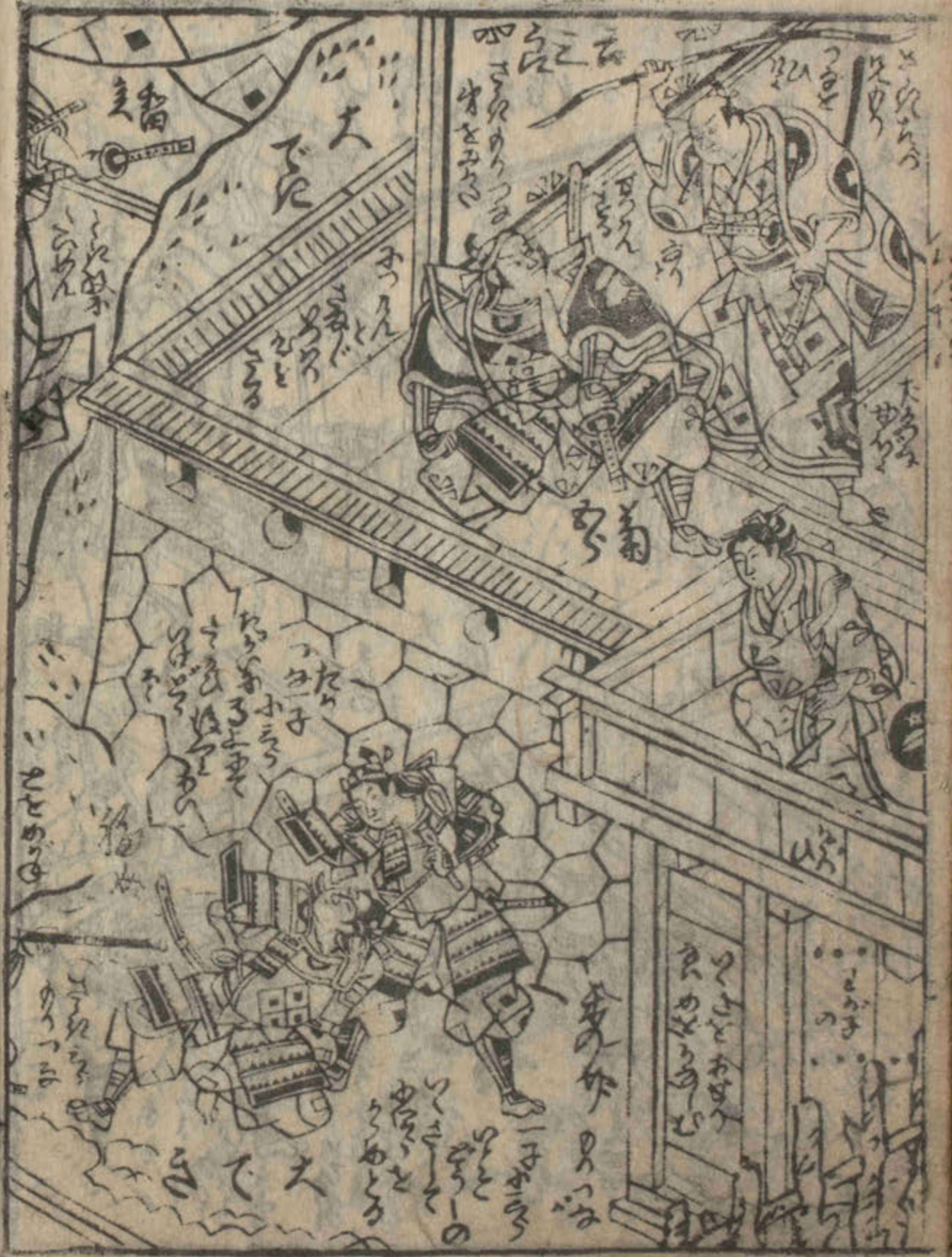


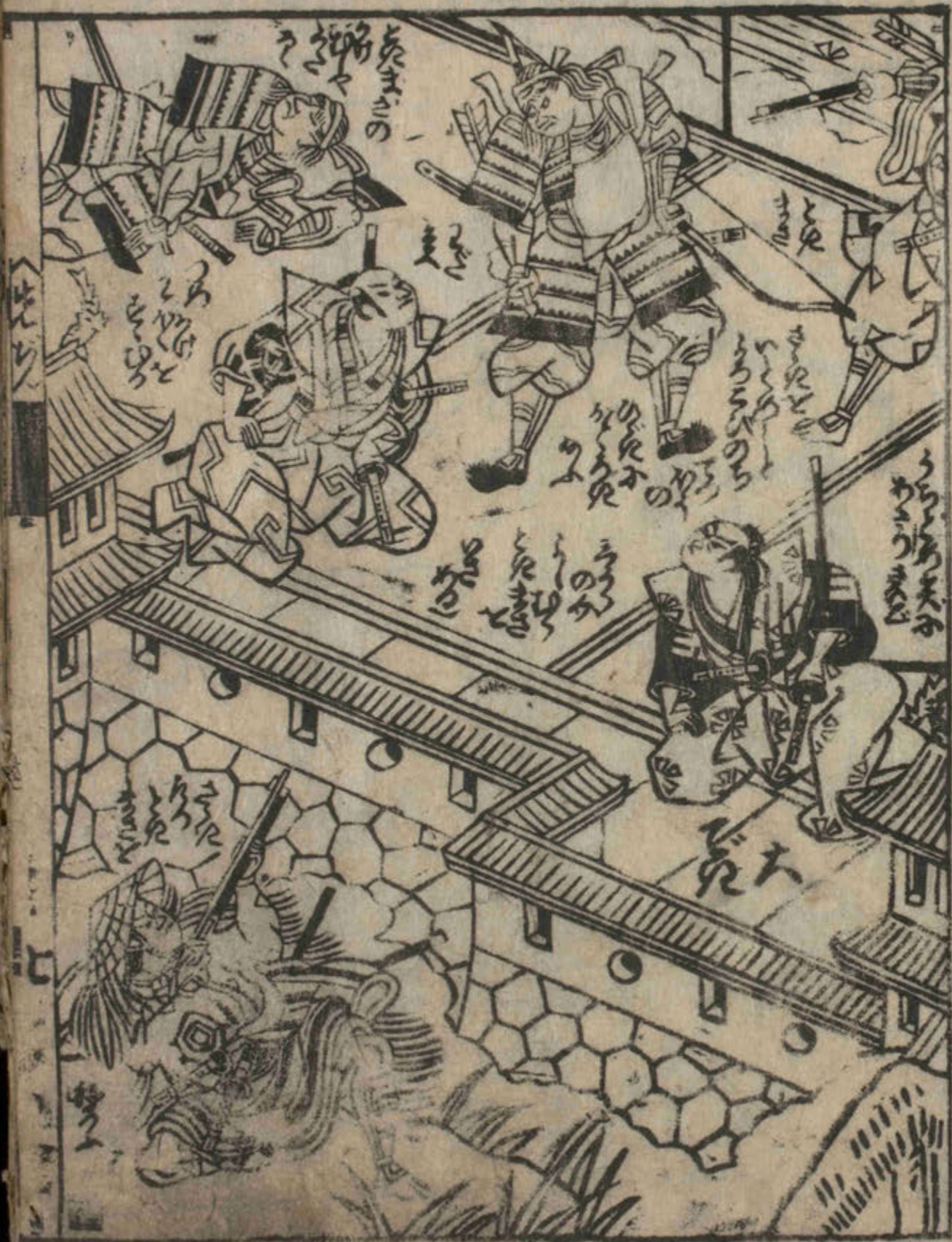
近江源氏先陣館の反續座本嵐松治郎











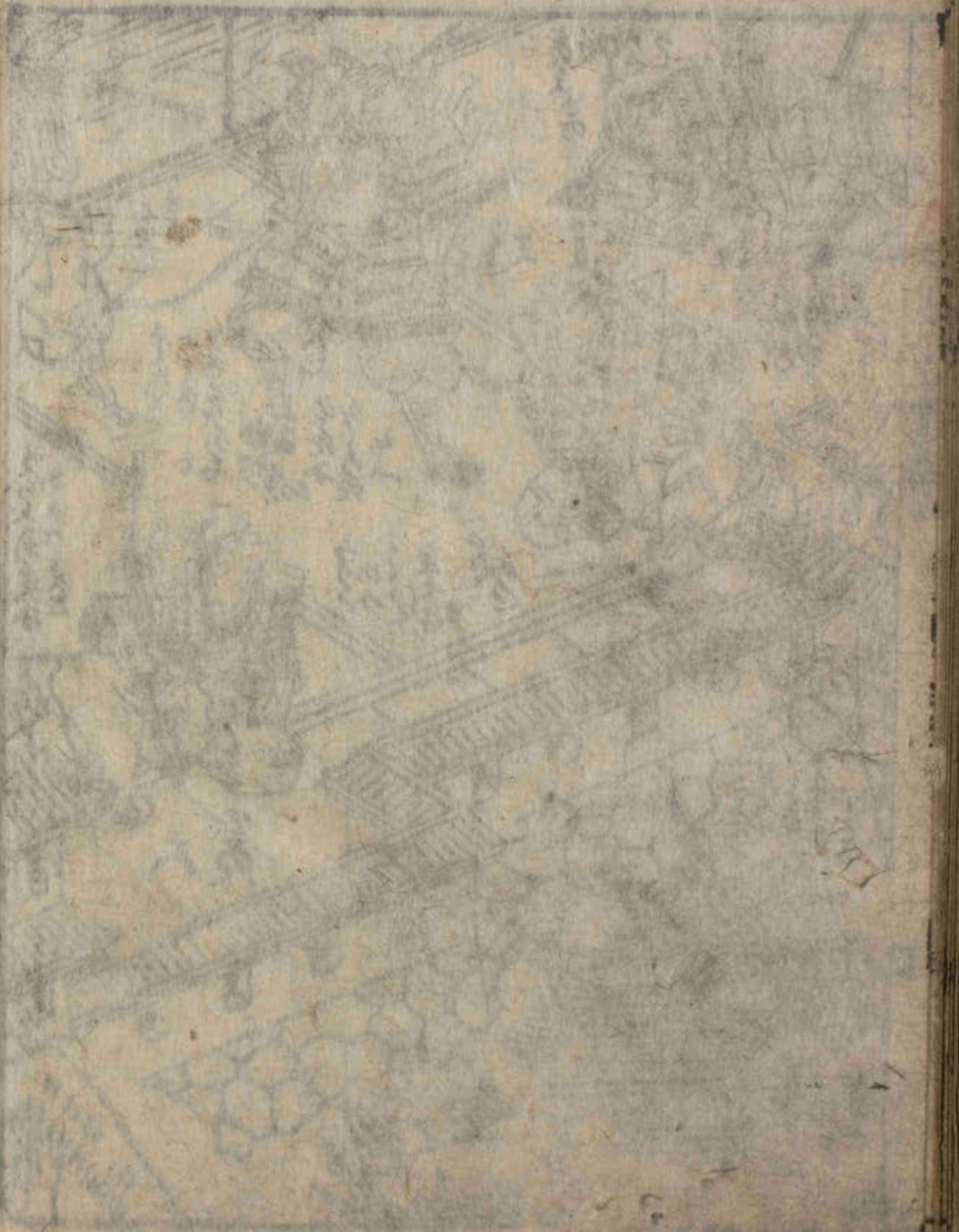


勢相撲

繩
津島九列
雷大坂
鬼ヶ嶽の仙卷

番組

座本中山
与三郎
全







坂東
久文
帝

中村
市川
長
帝

中山
文也
大あさり
市川
長
帝

中村
帝

市川
長
帝

坂東
長
帝



中村
帝

市川
長
帝

中村
帝

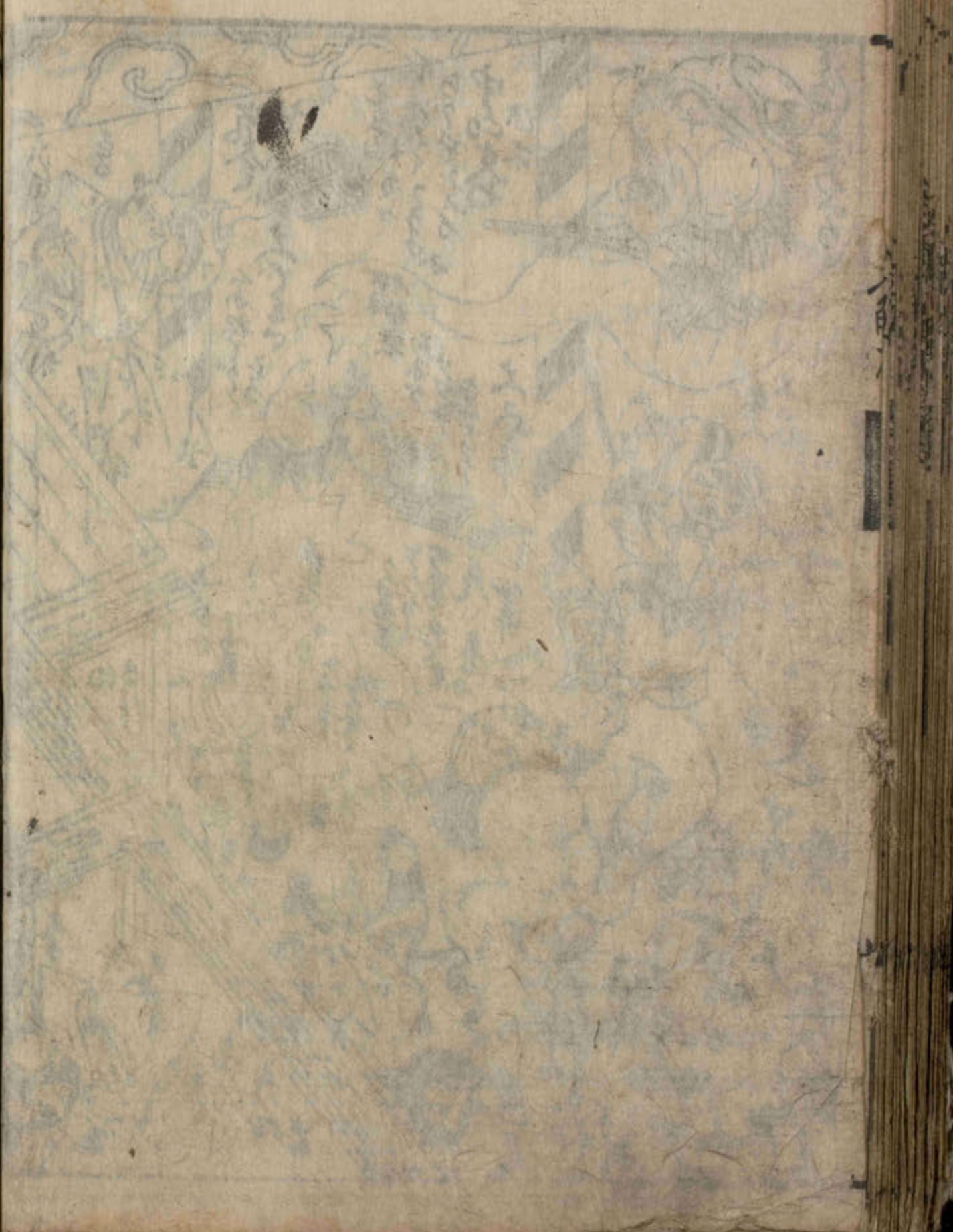
市川
長
帝

中村
帝





摩本小門
多と帝
あか
うち
あ
道満
あか
うち
あ
大内鑑
あか
うち
あ
多と帝
あか
うち
あ





中
推十帝

三月
廿七

さくら
の
ま
い
り

いろは

後川ハ
大で

あ
ら
ま
り
の
ま
い
り

あ
ら
ま
り

十
三
帝

あ
ら
ま
り
の
ま
い
り



重
次
帝

嵐
を
松

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り

三
掛
帝

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り





大内

增補改正

流嶋 物
歌討 嚴

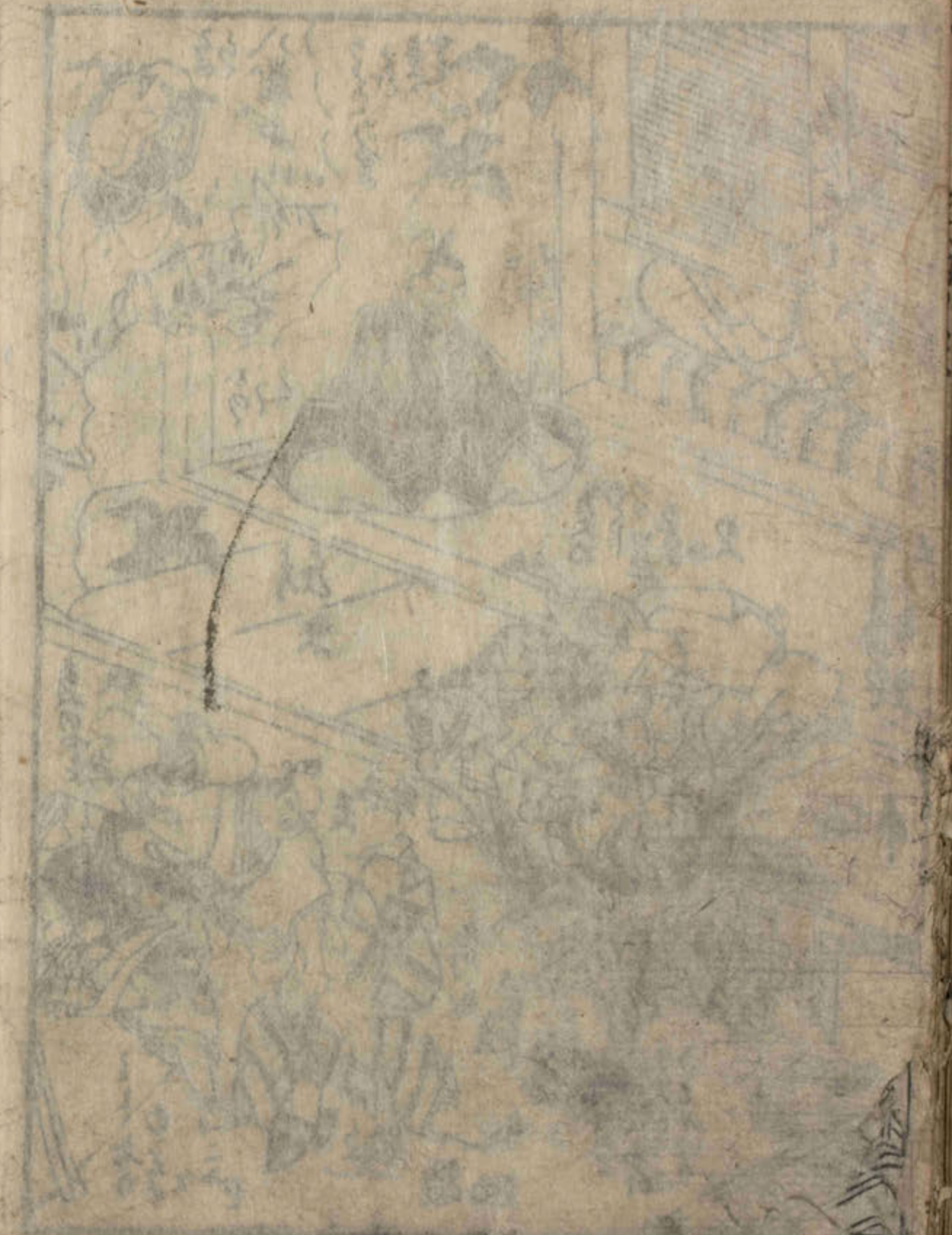


金

座本

流嶋

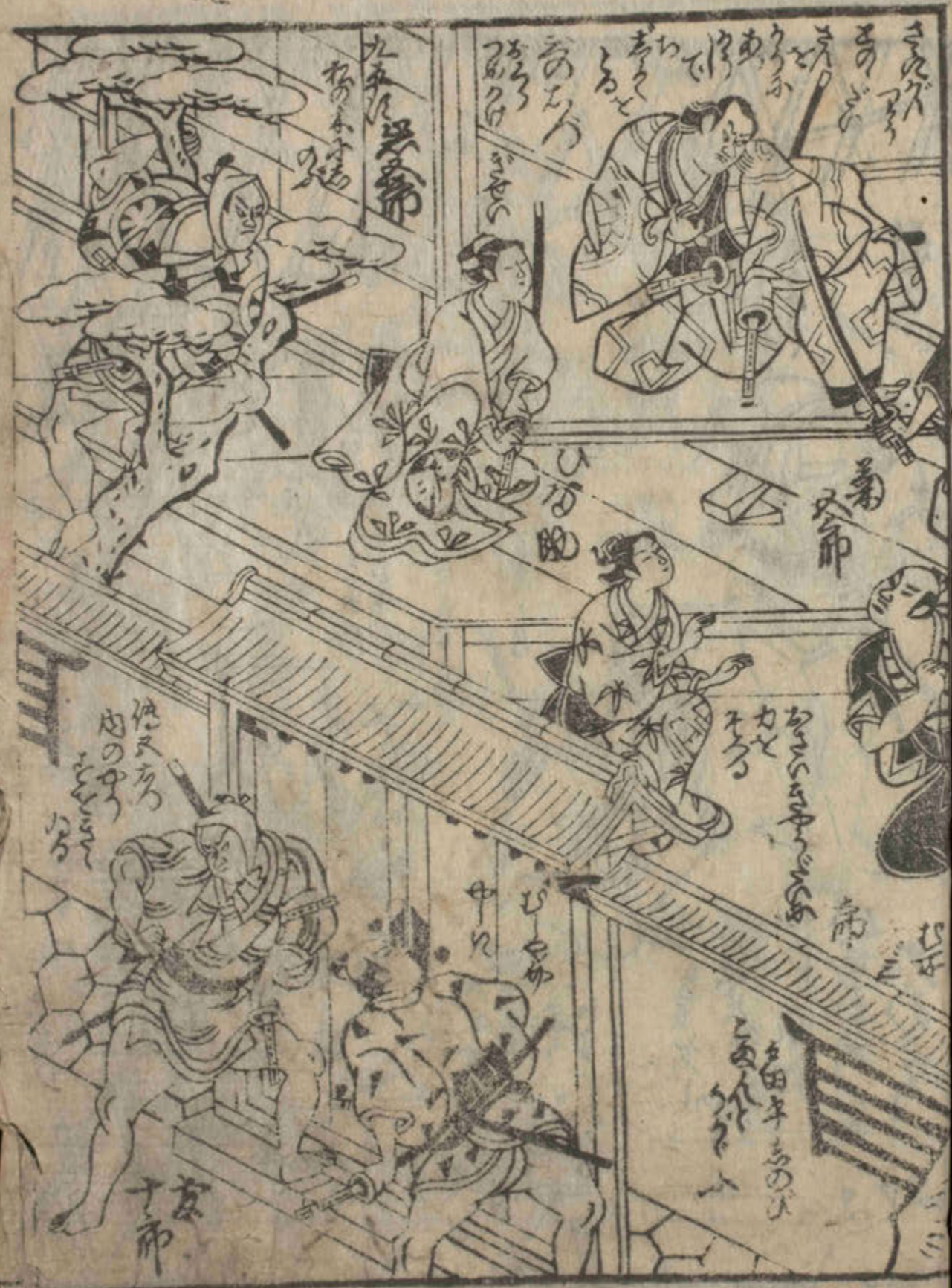
多













七

七



七

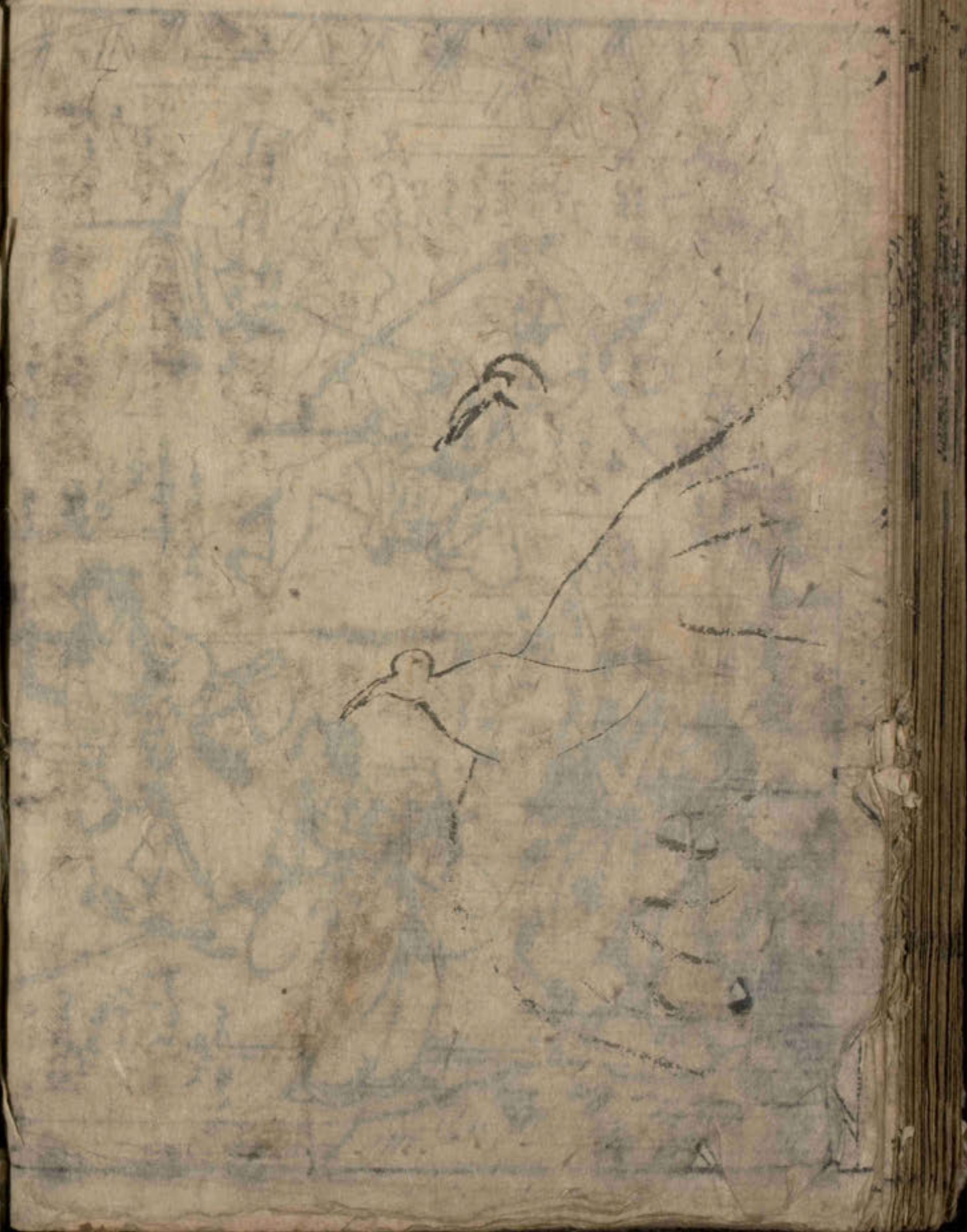
七

夫歌舞妓を神代天細命を始あり中真於田
 山を此門が發起より花より月より阿こがれ雪
 夕女智をもみかま貴賤能眼をも海より一
 の流連子筋り別是名人者くみ入るり狂言
 流しとこいさびらちる集久物もものみれらる
 人をもさし巻珠いとも目や度初春能るる
 たりともれとまらぬ

天明二年 壬寅 正月吉日

書林

大坂心齋橋
 正本 屋清






209
383
2
1